

2.5 分析対象種の確認状況の経年比較

分析対象種の確認状況の経年比較（その1）

凡例 : 確認 x : 未確認 1~3 巡回調査は河川環境管理システムに調査データが未格納、4 巡回調査は調査未実施

(薄字の河川は本年度とりまとめ対象外の河川である。) (注) (1) 3月調査のデータは、種名等について未充実

河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。

^{注21} 調査の継続性の観点から、^{注22} 2つ巡査課の所轄区分と、^{注23} 経年比較の対象とする水系は対象外とした。^{注24} 1955年改訂の「巡査課の所轄区分」によれば、

注3) 1～3巡目調査の区分については、原則として1巡目調査：平成2～7年度、2巡目調査：平成8～12年度、3巡目調査：平成13～17年度としたが、各河川の実施状況のバランスに応じて適宜区切りを調整した。各調査項目における具体的な巡目の区切りは調査実施年度の欄に記した。

分析対象種の確認状況の経年比較（その2）

凡例 : 確認、× : 未確認、- : 1~3 巡目調査は河川環境管理システムに調査データが未格納、4 巡目調査は調査未実施
(薄字の河川は本年度とりまとめ対象外の河川である。)

注1) 1~3巡目調査のデータは、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。

注2) 調査の継続性の観点から、経年比較のとりまとめ対象は、一級河川の直轄区間とし、指定区間および二級水系は対象外とした。

注3) 1～3巡目調査の区分については、原則として1巡目調査：平成2～3年度、2巡目調査：平成8～12年度、3巡目調査：平成13～17年度としたが、各河川の実施状況のバランスに応じて適宜区切りを調整した。各調査項目における具体的な巡回の区切りは調査実施年度の欄に記した。